



平成16年度 小規模特認校見学会

はじめに

21世紀の教育とは「考える力を持った人材・個性豊かな人材と多様化」する世界に通用する人間形成（又は育成）であります。
この教育こそが小規模校で培える教育であると言っても過言ではありません。
現在、「効率性」「競争」と言った事の教育ではなく、「質」「発展性」に重視した教育方針となっています。

学校紹介（緑と清流の中の長瀬小学校）

今年度児童21名（内、特認校制度児童1名）

授業：複式・単式

クラス編成 1年（単） 3・4年（複）5・6年（複） 障害児学級

長瀬小学校の特色（セールスポイント）

複式授業：基礎学力の定着・向上（個人にあった個別指導（弱点克服））

各人への基礎学力向上指導及び心身ケアの実践・・・連絡ノート活用

全国レベルの一斉学力試験の実施にて個々の把握と指導

情報教育の実践・・・（ＩＴ授業で他校と交流）・・・パソコン・net カメラ

縦割りでの人間形成・・・高・中・低学年が一緒になり活動する

（班活動にて責任感・指導性・自主性が育成される）

自然を活かした総合学習・伝統・・・米作り・炭窯・しいたけ栽培・陶芸

自己啓発活動・・・自由研究発表会・音楽会・

学校（先生）・保護者・地域のコミュニケーションが非常に良い

大規模学校のような問題傾向がない・・・学校生活が安定

（子供とのコミュニケーションが深まり楽しい学校生活がおくれる）

特認校制度推進委員会の取り組み

通学に関して：市より補助が出ますが、スクールバスの要求を継続申請中

放課後預かりシステムの構築：地域ボランティア等の支援にて

迎時間の一定化を行う。（交流・学習・遊び等）

多様化する時代にマッチしているのが、小規模での学校教育であると確信しています。私たちとこの長瀬小学校で共に楽しみませんか？